

女性の健康テーマに講演

駿河区「ケアの重要性伝えて」

静岡産科婦人科学会
と県産婦人科医会など
は10日、女性の健康週
間(1〜8日)に合わ
せた市民公開講座「産
婦人科医は女性のパー
トナーです」を静岡市
駿河区のグランシップ
で開いた。約150人
が聴講し、ライフステ
ージごとに変化する女
性の健康問題に理解を
深めた。

聖隷健康サポートセ
ンターShizuoka
の鈴木美香所長は更
年期をテーマに講演し
た。更年期には、よく
知られる「ホットフラ
ッシュ」(のぼせやほ
てり)以外にも、手指
の痛みや骨粗しょう症
などさまざまな症状が
あることを紹介した。

第2部のトークショ
ーは浜松医科大学の金山
尚裕理事・副学長も登
壇し、不妊症に悩む人
が増えている現状につ
いて「10代、20代の女
性に向けて月経や排卵
の仕組み、妊娠前の体
のケアの重要性を伝え
る教育がもっと必要」
と訴えた。

(社会部・大滝麻衣)



女性の健康をテーマにした市民講座
＝静岡市駿河区のグランシップ